

スギラン	<i>Huperzia cryptomerina</i> (Maxim.) Dixit	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ヒカゲノカズラ科
選定理由	生育地が少ないうえ、空中湿度の低下など生育環境の悪化から、種の存続への圧迫にさらされていると判断される。愛好家による園芸採取も多い。	写真(村瀬正成) 
形態の特徴	常緑性シダ。茎はまばらに分岐しつつ斜上するが、大型の場合は上半部が下向きに垂れることもある。	
生態的特徴	湿潤な場所に生育する大木の樹上に着生することが多いが、まれに岩上にも着生する。	
分布状況	北海道(東部)から屋久島にかけて分布する。岐阜県では県南部から県北部にかけて広く分布するが産地は少ない。	
減少要因	大きく減少したのは広葉樹林の植林地化であるが、近年は森林伐採、治山工事、林道工事等により湿潤な生育環境が失われる危険性が高い。愛好家による採集圧も考えられる。	
保全対策	生育地およびその周辺の森林を保全し、生育環境の維持に努める。生育に関しては適度な空中湿度が大切であることから、周辺地区の乾燥化を特に注意せねばならない。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成